

くずし字を読むための基礎知識

今回は、くずし字初級者の方を対象に、基礎的な文字や頻出単語などを学びます。
主に、近代(明治以降)の文書に現れる文字や用語を見ていくことにします。

【頻出する単語・難読文字一覧】

- 能う：あたう
- 聊か・些か：いささか
- 愈々：いよいよ
- 恭しい：うやうやしい
- 忝い：かたじけない
- 曩に：さきに
- 嗚：さぞ
- 加之：しかのみならず
- 爾来：じらい
- 音に：ただに
- 仮令・縦令：たとい
- 因みに：ちなみに
- 一寸：ちよつと
- 熟々：つらつら
- 陳者：のぶれば
- 只管：ひたすら
- 略：ほほ
- 稍：やや
- 能く：よく
- 宜敷：よろしく


【返読文字を覚えよう】

助動詞や否定の語など、下から返って読む文字を返読文字といいます。以下は、書翰や文書に頻出する返読文字の一覧です。

- 不(ず)、被(る、らる)、可(べし)、為(す・さす)、令(しむ)、有(あり)、無(なし)、奉(たてまつる)、以(もつて)、雖(いえども)、乍(ながら)、於(おいて)、難(がたし)、及(および)
- 返読文字の用例
- 不取敢：とりあえず
- 可被下候：くださるべくそうろう
- 被為行候：おこなわせられそうろう
- 奉存候：ぞんじたてまつりそうろう
- 無之：これなし
- 乍恐：おそれながら
- 及通牒候也：つうちょうにおよびそうろうなり

【合字】

合字とは、二つの文字を組み合わせた特殊な文字のことで、明治・大正期の本や雑誌には活字で登場することもあります。



 トモ トキ シテ コト こと より